

## 飛込 千葉インターハイ出場



■水泳部 遠藤 朱莉（2年1組）  
8月17、19日に千葉で行われたインターハイの結果は高飛込18位、3m飛板飛込24位で両方とも予選敗退でした。今年は自信を持って大会に臨めたのですが、練習通りの動き

が出来ず、悔いが残る試合となりました。来年は高校生最後のインターハイとなるので、表彰台に上がりたいです。また、8月26、29日には大阪でJOCジュニアオリンピック、9月12、14日には福岡で国体があるので、ここで気を抜かず、最後まであきらめずに悔いの残らない試合をしてきます。周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに一生懸命頑張ってくるので応援よろしくお願いします！

## 野球部 秋季大会

■部長 我妻 泰仁（2年2組）  
3年生が引退し、新チームとなってから約2カ月。先輩方と比べると私たちは体格も小さく技術も未熟ですが、夏の暑く厳しい練習を乗り越え、技術的にも精神的にも大きく成長しました。この夏の練習を自信にし、先生方への感謝の気持ちを胸に、自分たちが出来る全力プレーで戦ってきたいと思っています！

## ラグビー部 花園県予選



■部長 目黒 颯人（3年7組）  
8月30日に行われる花園県予選が3年生にとって最後の大会です。私たちが1、2年生のときには悔しい思いをしているので、夏の合宿の成果を存分に発揮し、今まで支えてくださった方々に感謝を、気持ちを前面に出してプレーをしたいです。

## ハイスクールサミットに東北

■石川 薫 先生  
8月8、9日に福島県いわき市で開催されたこのサミットは、全国の高校生が集まって福島県の今後や、地域のまちづくりについて意見を交わして発表するというものです。9日の午後に開催されたフォーラムでは、話し合ったことを発表しました。その場には総理大臣夫人や森少子化担当大臣、小泉内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官なども出席していました。それらの方々に直接に質問をぶつける機会もあり、本校生徒も積極的に質問していました。



■櫻井綾花（2年1組）  
私が1番印象に残ったことは、それぞれ初めて会う人たちと互いに意見を話し合っていたこと、たったの2日間だけで年齢や住んでいる地域の違いに関係なく仲良くなれたということ、私には積極性がまだまだ足りず、自分の考えをなかなか発言できないことも多いので、これからはもっと積極性が出せればいいなと思います。最後に、今回のハイスクールサミットに参加して本当に良かったなと改めて感じました。自分自身も少し成長できたかなと思います！

■堀込 咲希（1年1組）  
私の中で変化したことは、もっと東北のこれからについて、知りたい変えたい良くしたいという思いが強くなったということです。私に足りないと思ったのは積極性です。思いを口に出せなかったことがとても悔いとして残っています。今回のサミットに参加して、本当によかったと思います。始めは、迷いもありましたが行くという判断をしてよかったです。

## 続キズナプロジェクト

■石川 薫 先生  
8月11日に、外国の方を多賀城高校にお招きして、多賀城高校や多賀城市とその周辺の地域の魅力を英語で伝えました。外国の方に被災地を訪れてもらい、復興に繋げることを目的とし、今回は震災時の様子に加えて、多賀城高校とその周辺の地域の魅力を発信することに重点を置きました。英語でのプレゼンテーションを聞いていただいた後は、午後から遊覧船に乗って松島湾巡りをしました。松島を守った島々をバックに写真を撮りながら、船の上で楽しい時間を過ごせました。

■相澤 真帆（2年5組）  
私は今回キズナプロジェクトに参加して本当に良かったなと思いました。海外の方とこんなに関わることは初めてで緊張もしましたが、それ以上に楽しく、学ぶことも多かったです。また、1人でプレゼンテーションをするのは初めてで準備が大変でしたが、なんとか完成させることができました。海外の方との会話は「I'm sorry.」の連続で、なかなか英語が聞き取れなかったり単語が分からなかったりする場面が多かったです。その度に海外の方がゆっくり読んでくれたり、分かりやすい単語に変えてくれたりしました。この日1日だけで英語がもっと好きになって、少しだけですが上達もしたと思います。また、英語だけでなく、多賀城高校や地域のことを改めて調べてみて新たに知ること多かったです。私達が普段住んでいるこの地域にも、まだまだ知らないことがあるんだなと思いました。

今も連絡を取り合っていて、英語の勉強になっているし、「楽しかった、また会いたい。」など嬉しい言葉を沢山もらっています。今度私が海外に行くと皆さんに会いたいなと思います。そのために、もっともっと勉強します！



## 芦屋高校、呉昭和高校との交流会

■近江 広野（2年1組）  
8月18日に兵庫県の芦屋高校、19日に呉昭和高校をお招きして、震災当時の多賀城高校のようすや津波波高調査・標識設置活動紹介と震災についての意見交換交流会を行いました。両校とも私たちの発表を真剣に聞いてくださり、時間がオーバーするほどたくさん質問をしてくださりました。生徒の皆さんが、震災のことを知りたいという気持ちで伝わってきました。



両校の生徒の皆さんが遠いところから被災地である宮城県にわざわざ来て下さった理由は、震災についてきちんと知り、決して風化させてはならないという強い気持ちがあるからだと思います。被災地に住むで私たちも、この気持ちを忘れてはならないと改めて思いました。

## 保育体験実習に行ってきました！

■伊東 千遥（3年5組）



笠神保育所に入ると、3、4歳の子どもたちがしっかり並んで私たちに挨拶をしてくれたのがとても嬉しく、「かわいい!!」と何度も言うてしまうほどでした。1歳児のクラスでは本を読んだり聞かせたり、プールで遊んだりしました。1歳児のなかには人懐っこい子だけではなく、すぐに泣いてしまう子もいました。3、4歳児のクラスでプール遊びのときには「先生、見て！いっぱい入れたよ!」、「これ、お母さんにあげるんだ」と積極的に話しかけてくれる子が多かったです。年齢によって子どもたちのコミュニケーションの取り方が違ったり、子どもたちの性格もさまざまなので、その子に合った接し方が必要なのがわかりました。この経験を生かして、自分の夢に向けて頑張りたいと思います！

なかに人懐っこい子だけではなく、すぐに泣いてしまう子もいました。3、4歳児のクラスでプール遊びのときには「先生、見て！いっぱい入れたよ!」、「これ、お母さんにあげるんだ」と積極的に話しかけてくれる子が多かったです。年齢によって子どもたちのコミュニケーションの取り方が違ったり、子どもたちの性格もさまざまなので、その子に合った接し方が必要なのがわかりました。この経験を生かして、自分の夢に向けて頑張りたいと思います！